

東光寺だより

春岳和尚の終活！！

住職も3月23日で84歳になりました



人間に生まれた4つの苦 生老病死

お釈迦様は人間に生まれた以上皆平等に4つの苦を背負っていると説かれています。金持であろうが、貧乏人であろうが、権力であろうがなかろうがみな平等に背負っています。



一人乗りの飛行機を想像してみてください。それぞれの飛行場から周囲に祝福され大空に飛び出すのです。

昭和のころは飛行機もあまり優秀ではなく（医学もそれほど発達していなかった）すぐに墜落してしまうのも多くありました。今は優秀ですのになにに不自由なく大空を飛び回ることができます。30代40代は機体になんの心配もなく高度1万メートルあたりを自慢しながら人生を謳歌できるのです。しかし高齢者と呼ばれてくるころから老を感じるようになり、機体に思わぬ損傷が発見され尾翼の一部に膏薬を張ったり、視界がぼやけてきたり、プロペラがうまく回らなくなったりします。それでも飛ばなければならないのです。飛びながらエンジンを挿げ替えるひともあります。それでも飛び続けなければならないのです。ほとんどの人が病と闘い悩まなければならないのです。墜落は死を意味しているのです。私も八十路を迎え、病とその向こうにある死と直面しています。人生最大の悩みです。しかし、大空をもう一度飛びたいとは思いません。墜落はしたくありません。低空飛行を心がけ、目的地の飛行場を見つけ、滑走路にうまく着陸し、静かにエンジンを切る、終活とはそういうものだと思っています。

合掌

「己書」教室開設間近

東光寺寺庭 鷺見千恵子

かねてより「己書」書道に邁進し、この度めでたく師範の称号を取得いたしました。一風変わった文字に人気がありこの頃は「ご朱印」の文字も「己書」でと所望されることが多くなりました。



今後「己書道場」の開設に意欲を燃やしています。目下本堂にいろいろ展示いたしておりますのでご来山の折には是非ともご覧ください。

五眼龍菩提樹の作品



20年の月日を経て昨年から実をつけだした五眼龍菩提樹。その実をあしらったブレスレット・ストラップを中心に色々作品ができ上がりました。オンラインショップでも掲載いたしますので覗いてみて下さい。きっと気に入る一品があると思います。

今月の生け花



令和5年3月 文責

東光寺住職

鷺見邦隆